

2019年4月5日（木）

第84回 JIPDECセミナー・資料



インターネット上の**情報の信頼性確保**
に向けて取り組む

インターネットトラストセンター

インターネットトラストセンター
事業推進グループ グループリーダー
永井 久美子

ご紹介のポイント

1. インターネットのトラストとは
2. インターネットトラストセンターのミッション
3. トラストサービスの普及支援
 - JCAN証明書
 - JCANトラステッド・サービス登録
 - なりすましメール対策
4. インターネットトラストに関する普及啓発

インターネットのトラストとは

トラスの位置づけ

- ・トラスは**高度情報社会**の**安心安全基盤**の一つ

情報セキュリティ

- ✓ 権限ある人だけが情報を閲覧できる
- ✓ 情報の改ざんができない
- ✓ 必要な時に情報を使ったり変更できる

個人情報保護

- ✓ 個人情報に関する国内外の規制への対応

トラス

- ✓ データ及びその発信者の真正性が確認できる

人工知能 (社会原則)

ロボット (社会原則)

ビッグデータ分析

知的財産 (戦略)

標準化 (戦略)

ITリテラシ (教育)

トラストサービスとは何か？

- インターネット上の情報の信頼性は、以下を保証することによって担保される。
 - ✓ 電子情報が改ざんされていないこと
 - ✓ 通信の相手先となる人や組織が本物であること
- トラストサービスとは上記を保証する役務。
 - ✓ 電子文書やメールへの電子署名（本人性の証明）
 - ✓ 電子文書へのタイムスタンプ^o（時刻の証明） 等



**現実社会における署名や押印の機能を
デジタルで実装するITサービス**



インターネットトラストセンター のミッション

インターネットトラストセンターの事業

インターネット上の情報の信頼性（**トラスト**）の確保のための仕組み作りに取り組んでいます。

2012年1月～



電子文書の真正性を保証する電子証明書
(**JCAN証明書**)の発行

2013年7月～



ネット上の法人の存在性を保証する
サイバー法人台帳ROBINSの運用

2013年7月～



なりすましメール防止のための
安心マークの運用

2017年10月～



トラストサービス評価を行う
JCANトラステッド・サービス登録

トラストサービスの普及支援

JCAN証明書の概要

パソコンやスマホなどに入れることで、
以下の多様な用途で利用できる、
JIPDECが発行する電子証明書



JCAN証明書を使い、電子署名することにより、

電子契約 ⇒ 取引文書の電子決裁

暗号化 ⇒ 電子文書の閲覧者を限定できる

アクセス認証 ⇒ クラウド環境での認証に有効

メール ⇒ S/MIMEによるなりすまし対策

⋮
⋮

JIPDECにおける電子証明書の活用

JIPDEC職員にJCAN証明書配付（2010年11月～）

発信メールに使用：S/MIME機能
（電子署名，暗号化）

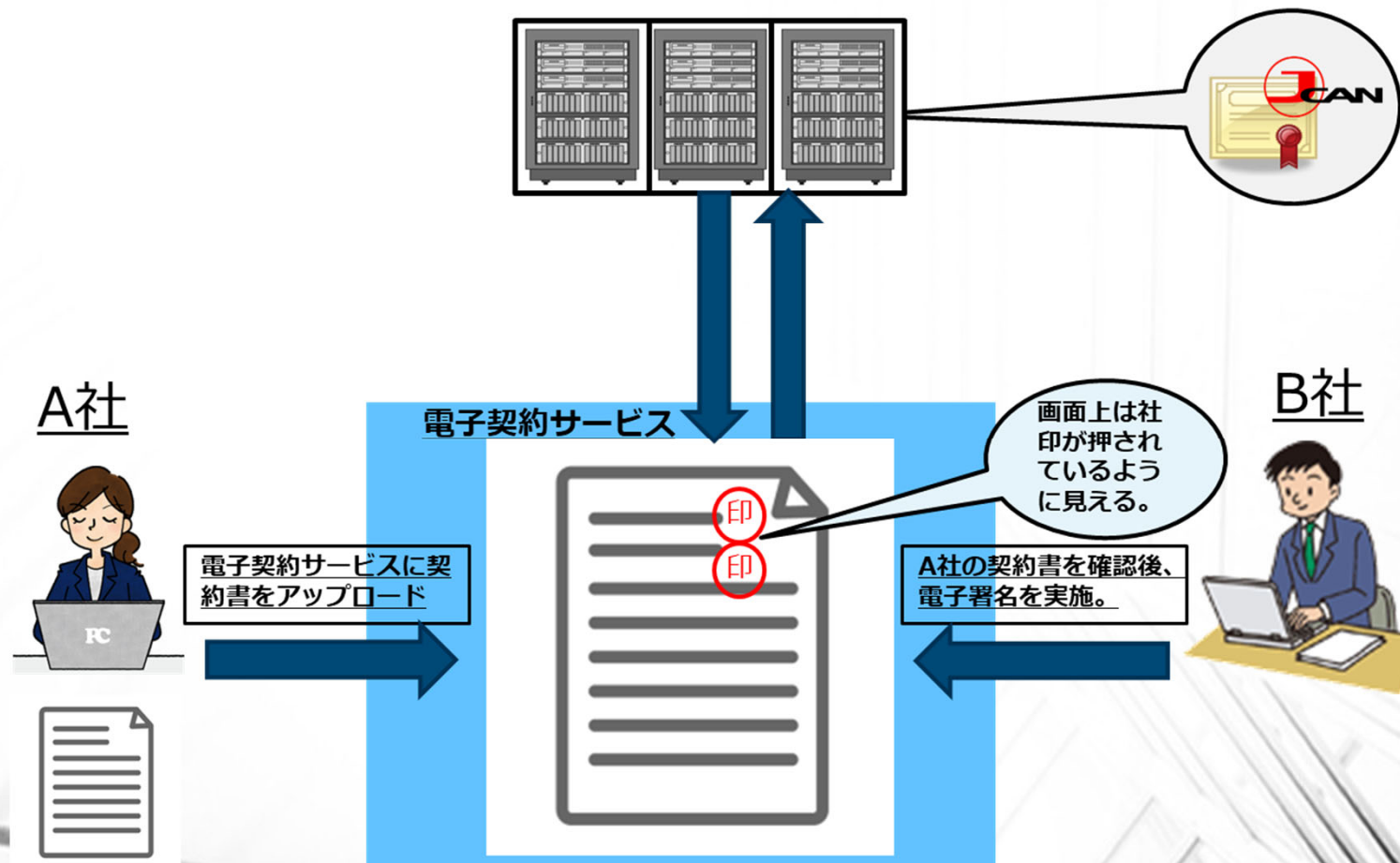
外部からの社内システムへのアクセス：クライアント認証

※「電子契約システムのサービス」利用の検討

電子契約システムの利用に向けて

電子契約でのJCAN証明書の利用

- クラウドを活用した電子契約サービスにおける電子署名への利用



JCANトラステッド・サービス登録の概要

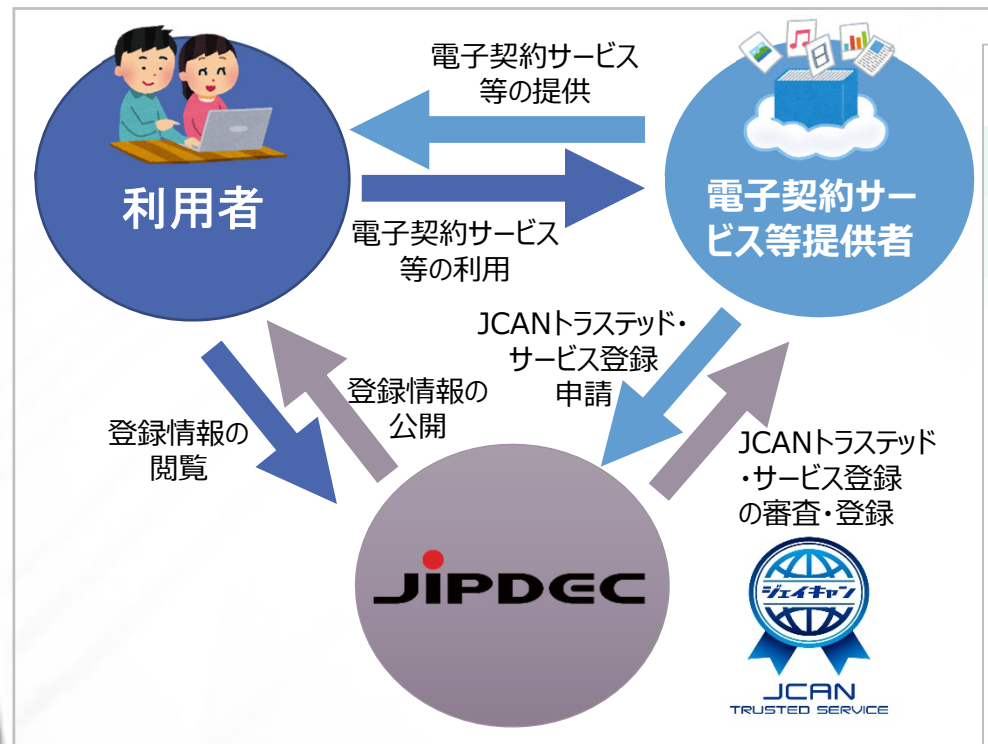
電子署名に必要な電子証明書を発行する認証局や電子署名等を利用した電子契約サービス等を、第三者であるJIPDECが審査し、信頼できる**トラストサービス**として評価登録します。



登録サービスの種類	登録組織
① 認証局	みずほ銀行
② 電子証明書取扱業務	28組織
③ 電子契約(-リモート署名版-)	
③-1 リモート署名(電子契約)	サイバートラスト株式会社
メール	
Webサイト	
本人確認をしているサービス	など

(最新ニュース) リモート署名 (電子契約)

サイバートラスト株式会社の「iTrustリモート署名サービス」を JCANトラステッド・サービス登録 (リモート署名 (電子契約)) の第一号として、4月1日に登録しました！



The screenshot shows a press release on the cybertrust website. The headline reads: "サイバートラスト iTrust リモート署名サービス JIPDEC の審査に合格し、リモート署名に係るトラストサービスとして日本初登録". The text below the headline states: "～信頼されたリモート署名サービスとして登録が完了～" and "2019年4月3日 サイバートラスト株式会社". The body of the text describes the company's commitment to digitalization and the specific details of the registration process with JIPDEC and JCAN.

認証局の審査基準の概要

JCANトラステッド・サービス登録 (認証局)



利用者管理

- 発行申請の方法
- 実在性確認
- アカウント管理
- 証明書ライフサイクル管理
- …など

鍵管理

- 利用者鍵管理
- 認証局鍵管理
- 認証
- 権限確認
- 暗号モジュール
- …など

技術監視

- 入退室管理
- 監視
- 不正アクセス
- 盗聴・改ざん対策
- 誤認防止措置
- FW、IDS
- …など

その他

- 教育実施
- 証明書運用ポリシー
(CP/CPS)
- 事業継続計画
- 内部監査
- リスク分析実施
- …など

電子契約の審査基準の概要

JCANトラステッド・サービス登録 (電子契約) -リモート署名版-



利用者管理

- 利用者本人確認
- 利用者情報管理
- アカウント管理
- 情報開示請求
- サービス廃止の措置
- …など

署名鍵管理

- 署名鍵生成
- 署名鍵と利用者識別管理
- 署名鍵保護
- …など

電子契約書管理

- 署名検証の仕組み
- 電子契約書へのアクセス制御
- 冗長化、バックアップ
- …など

電子署名機能

- 電子署名実施環境の仕組み
- 検証方式の仕組み
- 長期署名の設定
- …など

その他

- 教育実施、
- 事業継続計画
- 内部監査
- リスク分析実施
- …など

なりすましメール対策

改元に伴う不審メールへの注意喚起

読売新聞_2019年4月2日

■偽サイトに誘導




不審メール注意呼びかけ

新元号発表に伴う不審メール確認

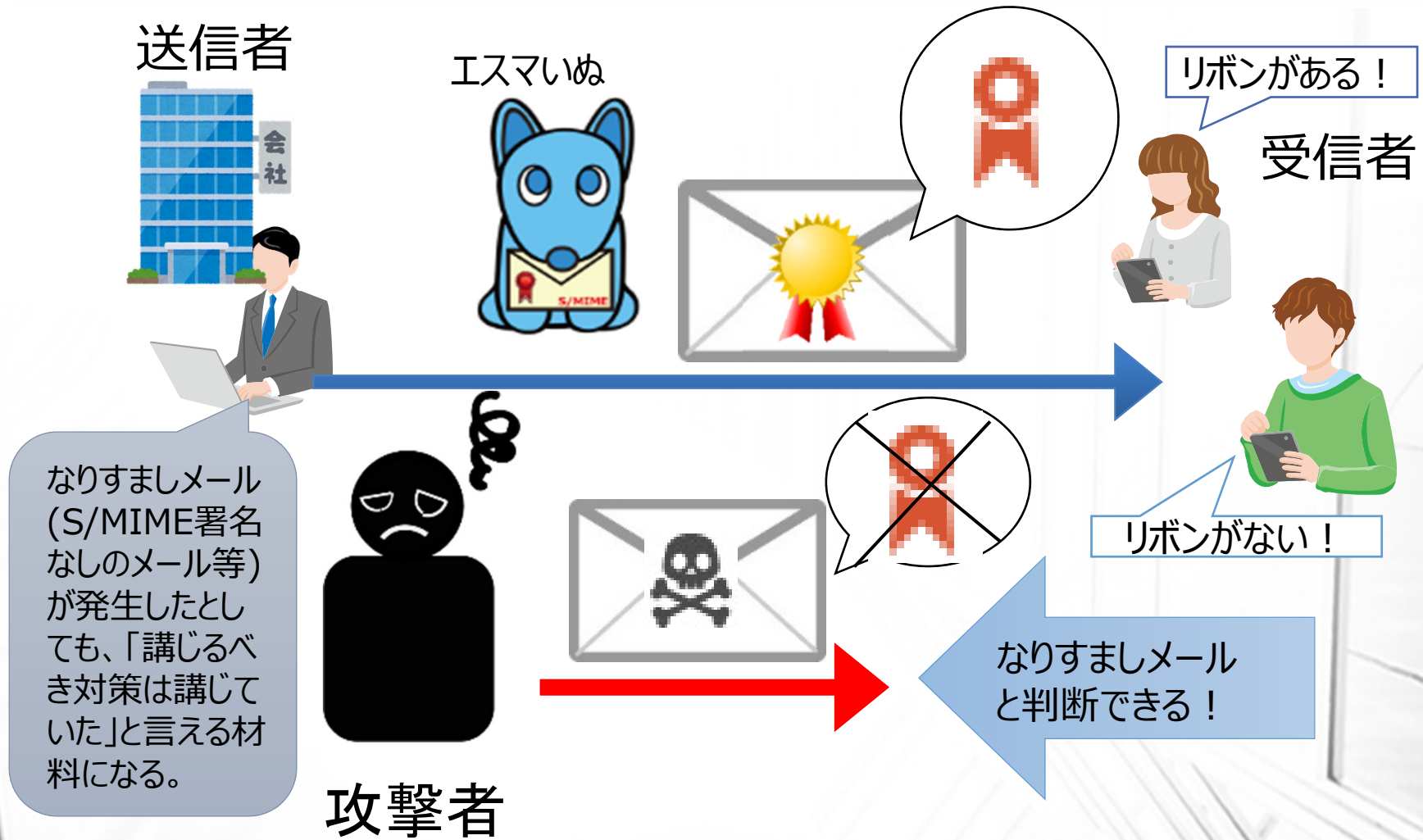
日本経済新聞_2019年4月2日

詐欺メールから職場を守る

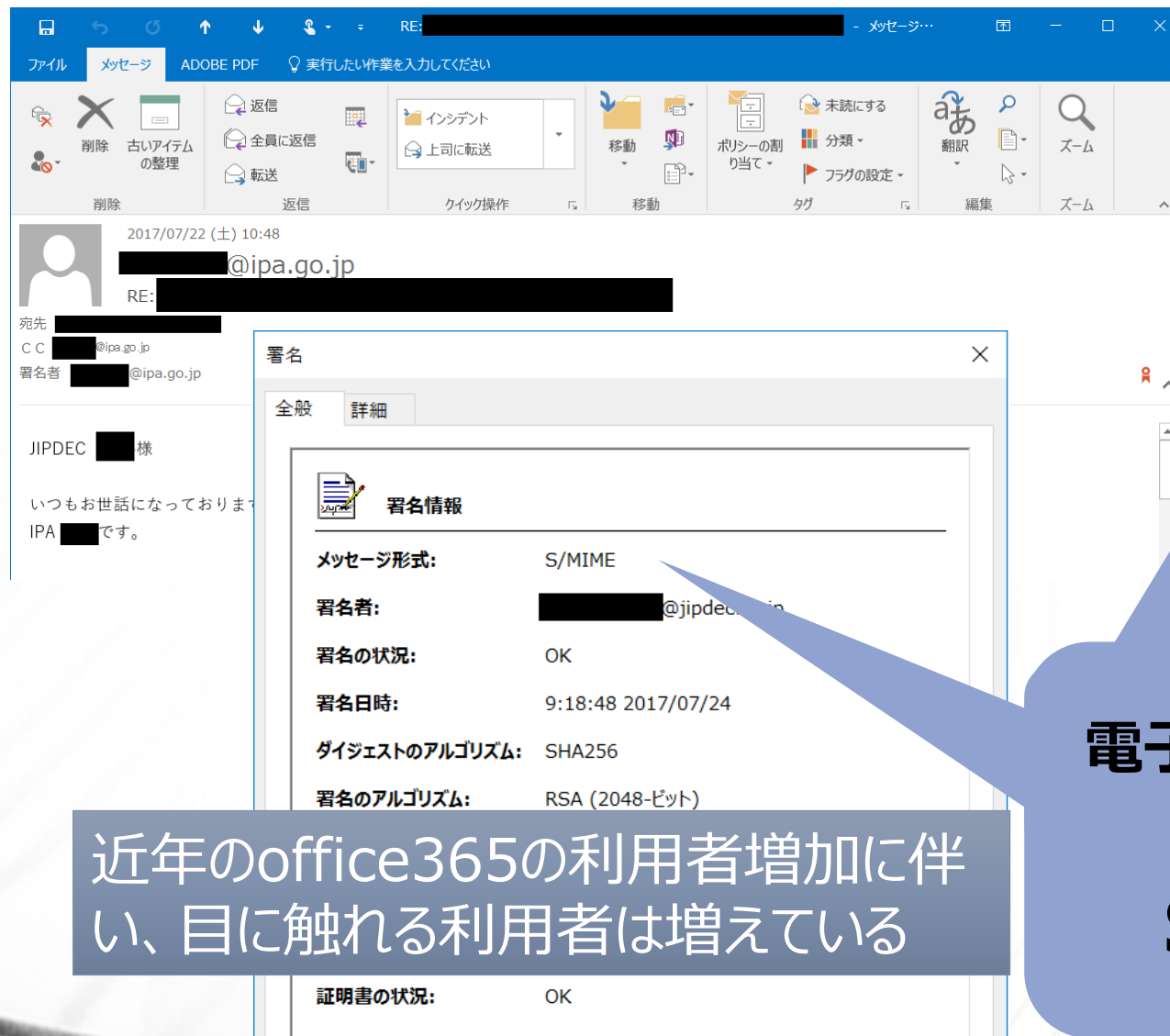
JIPDECが周知してきた「なりすましメール対策」

- 正しいメールを正しいと判断できるようにする。
 - ・電子署名付きメール（**S/MIME**）を使う。  S/MIME
エスマいぬ
 - ・送信ドメイン認証（**DKIM**）に対応し、  DKIM
ディーキいぬ
 - 「**安心マーク**」によるDKIMの可視化をする。 
- 正しくないメールを正しくないと判断できるようにする。
 - ・**DMARC**に対応する。
（なりすましメールは受信しないで下さいという設定）

電子署名 (S/MIME) を付けるとなりすましの区別がつく



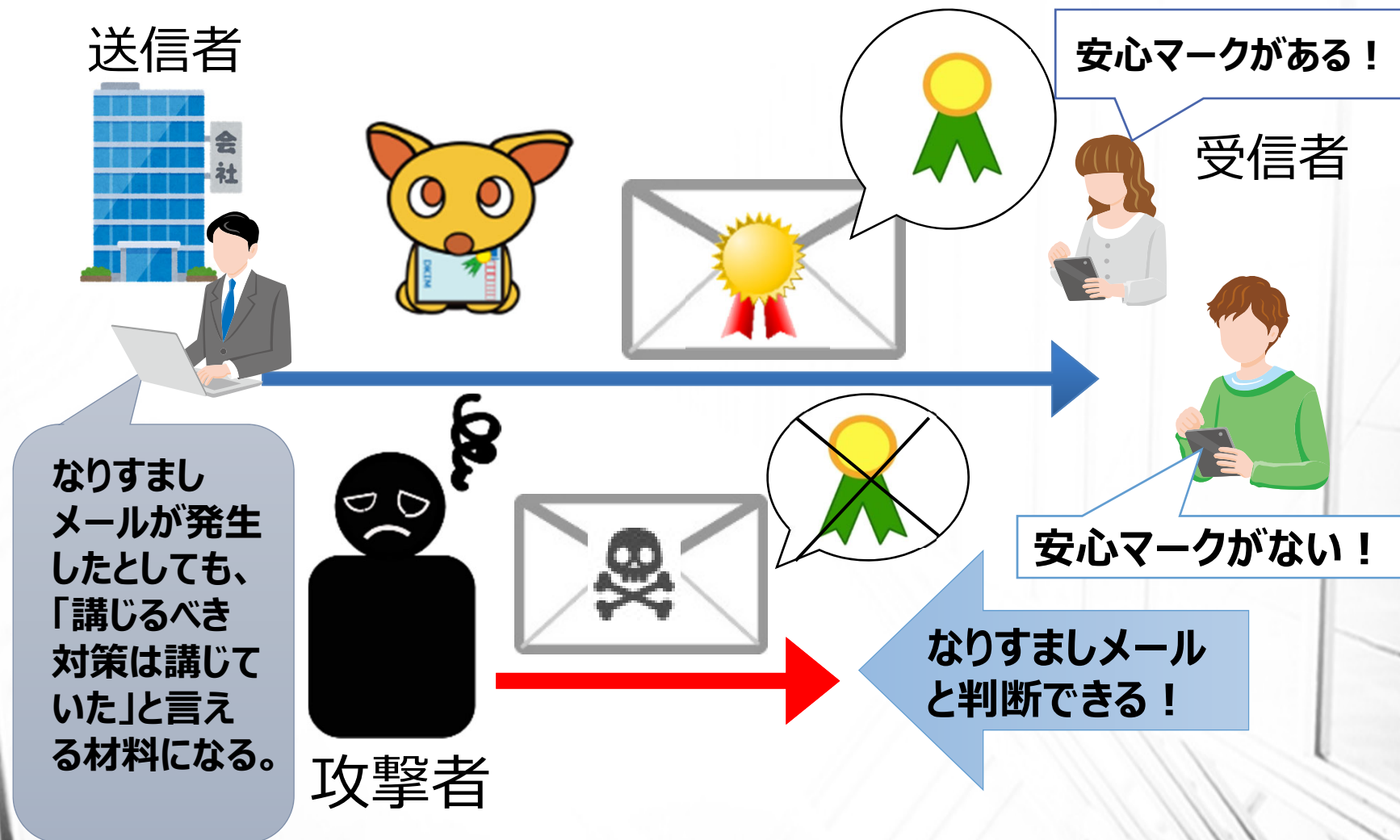
S/MIMEのOutlookでの表示例



近年のoffice365の利用者増加に伴い、目に触れる利用者は増えている

電子証明書を使った
電子署名
S/MIME

安心マークもなりすましと区別がつく

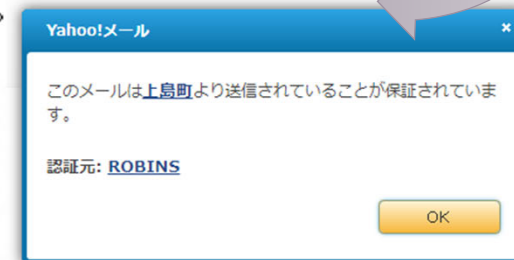


安心マークの表示例 (Yahoo!メール)

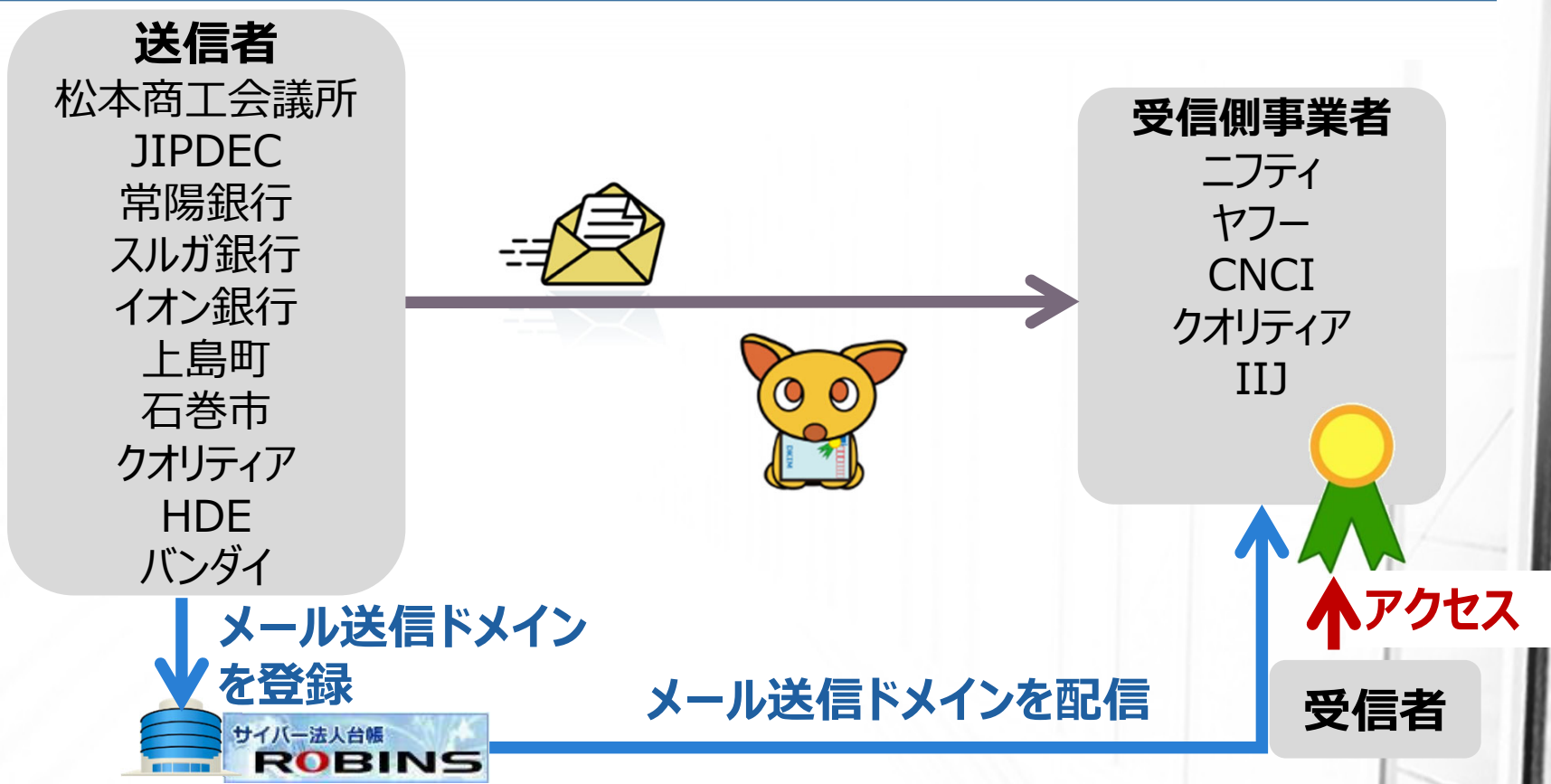


電子証明書を使わない仕組み

ヤフー、ニフティ、JIPDECの
三者で作成した仕組みです



安心マークの普及状況



開封率の向上/受信箱への配送

なりすましメールの防止

問い合わせ対応の効率化

企業イメージの向上

メリット

インターネットトラストに関する 普及啓発

日欧インターネットトラストシンポジウム

日時：2019年5月23日（木）9:30～17:00

場所：慶應義塾大学 三田キャンパス 北館ホール

4月中旬より申込受付開始予定！

世界的なデジタル革命の進展の中、インターネット上の情報の真正性を担保する電子署名等のトラストサービスの重要性が増大しています。特に欧州では、デジタル単一市場の実現に向け、2016年7月にeIDAS規則が全面施行されるとともに、トラストサービスの国際的な普及に向け、日本へのアプローチも視野に入れた取り組みに着手しています。

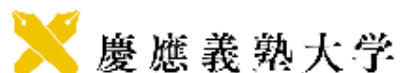
一方、我が国においても、クラウドを活用した電子契約サービス等が急速に普及する中、電子文書の真正性を担保する電子署名等の重要性が再認識されつつあります。

このような多種多様なトラストサービスの信頼性を確保するために、安全性に関する基準や本人確認に関する仕組みの標準化が重要です。

今般、ETSI（欧州電気通信標準化機構）の専門家の来日に合わせて、2017年に引き続き、第2回目のインターネットトラストに係る国際シンポジウムを日本で開催いたします。

★4月より、参加申込の受付を当ホームページで行います。

主催



信頼できるデジタル社会に向けて

- 企業活動や一般市民の日常生活は大量のデジタルデータによって支えられています。今後、データの真正性確保は益々重要になります。
- Society5.0、すなわちデジタルデータを最大限に活用する社会においては、トラストサービスの健全な普及が重要です。
- ペーパーレスやキャッシュレスを含めたデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進に向けて、JIPDECはインターネットのトラストの実現に取り組んで参ります。

The logo for JIPDEC, featuring the letters 'JIPDEC' in a bold, black, sans-serif font. A small red dot is positioned above the letter 'I'.

インターネットトラストセンター

<https://itc.jipdec.or.jp/>

TEL:03-5860-7562

itc-event@jipdec.or.jp